

江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想

みんなが 楽しんで 集まる 豊かな 広場



平成 22 年 6 月

江 津 市 教 育 委 員 会

江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会

はじめに

江津市では、平成5年に総合市民センターの建設計画が検討されると同時に、隣接した場所に図書館と郷土資料館を含めた文化生涯学習センターを建設する具体的計画がありました。諸般の事情でその建設は中止になりましたが、その後の第5次総合振興計画にも、江津市図書館と郷土資料館の建設が課題とされています。平成16年に江津市と桜江町が合併された新市建設計画においても、図書館と郷土資料館の整備が計画されています。

こうした市行政の動きとあいまって、市民の皆さまの間から「江津市図書館建設期成同盟会」（会長・故上田勤氏）が生まれました。「江津市図書館建設基金」と墨書した壺が図書館や市役所、江津市総合市民センター等の入口に設置され、募金活動が行われました。その募金活動は平成7年から平成19年という13年間の長きにわたり、170万円の浄財が集まりました。

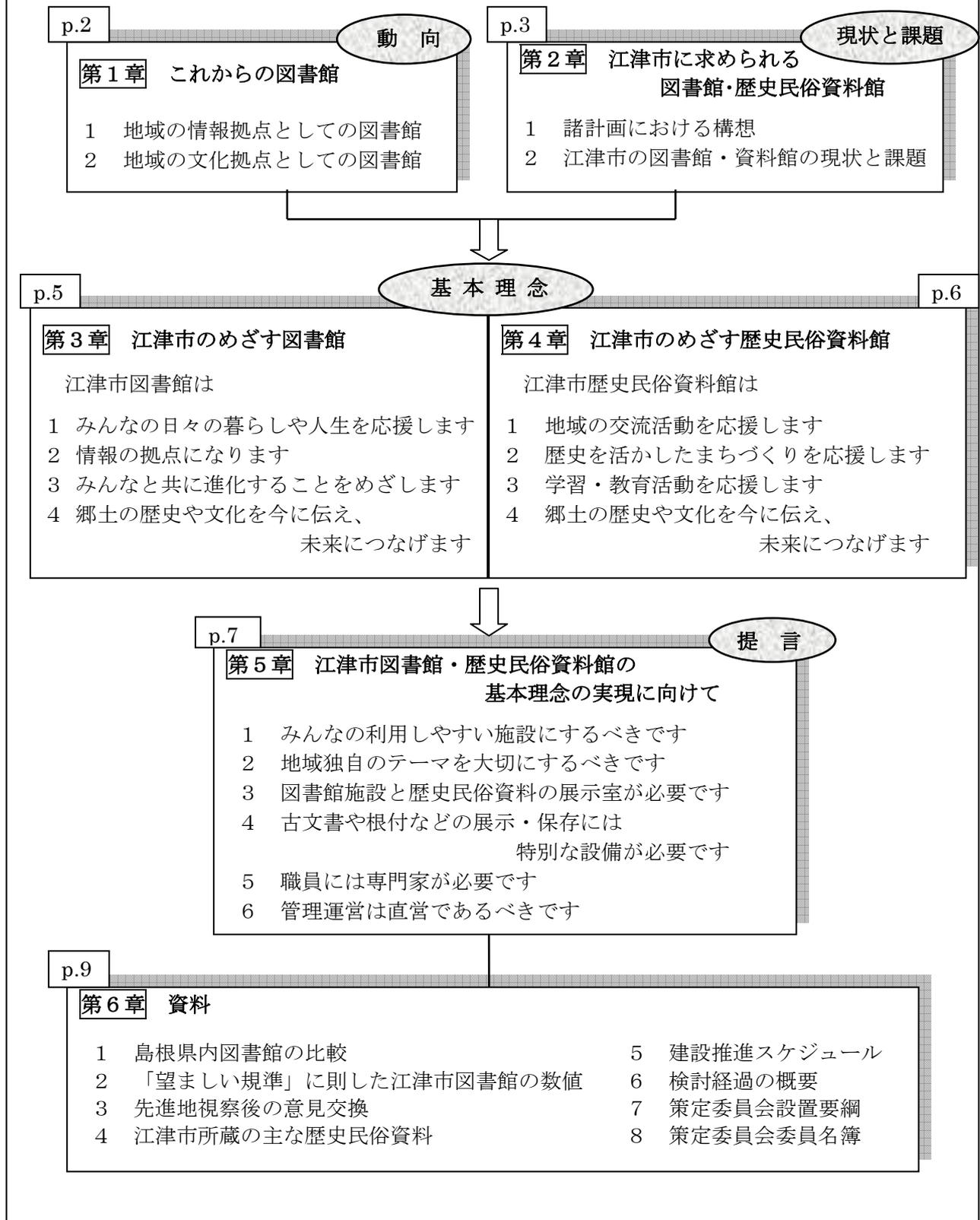
そして皆さまの募金に込められた思い、新図書館・歴史民俗資料館に対する期待を最大限に具現化するために、平成21年11月に「江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会」が組織されました。各関連領域の代表者や公募による委員から成る計15名が、視察や現地見学や勉強を重ねながら、江津市のめざす図書館と歴史民俗資料館はどうあるべきか、という基本構想を検討してきました。その結果を、ここにご報告いたします。

この基本構想は、江津市図書館・歴史民俗資料館の建設のための骨格を示したものです。今後、市民の皆さまや関係各課のご協力を得て、さらに具体的な肉付けがなされて基本計画が策定され、本市にふさわしい図書館・歴史民俗資料館が建設されることを委員一同心から願っております。

江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会

委員長 堀川 照代

「江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想」の構成



第1章 これからの図書館

1 地域の情報拠点としての図書館

私達を取りまく社会は、「生涯学習社会」や「高度情報化社会」と呼ばれ、今また、「知識基盤社会」と呼ばれています。そのなかで、図書館は知識を保存するばかりでなく、住民の生活や地域の行政に役立つ機関へと変化してきました。

文部科学省が平成18年に発表した『これからの図書館像：地域を支える情報拠点をめざして』には、その副タイトルに示されるように、図書館は「地域の情報拠点」と位置づけられています。生涯学習審議会の答申（平成12年11月）の「新しい情報通信技術を活用した生涯学習の推進方策」においては、図書館が「地域の情報拠点」としての機能拡大を図るために、情報通信技術の積極的な導入・活用が不可欠であり、それをもとに電子化された資料や情報を広範囲に提供するなど、新たなサービスを展開すべきであるとの方針が示されています。

とくに、地域の課題解決に向けた取り組み、子育て、学校教育、ビジネス（地場産業等）などに必要な資料や情報を提供する課題解決支援機能が、今日、図書館に求められています。

2 地域の文化拠点としての図書館

一方、子どもの読書ばなれに関する問題が注目されています。「子ども読書年」（平成12年）、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年）、「文字・活字文化振興法」（平成17年）、「国民読書年」（平成22年）などと、国は次々と読書に関する施策を打ち出しています。

子どもも大人も、読書をとおして著者の創り出す世界に触れ、登場人物と一体となって豊かな人格を築いたり、自分とは違った価値観に出会って人間としての幅を広げたりします。図書館は、赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人々に読書の喜びを伝え、資料を利用して学ぶ楽しさを伝えます。

図書館は「地域の文化拠点」です。一人ひとりの暮らしや文化的営みを支え、地域の歴史や文化を現在に伝え、新たな文化的活動を創り出し、地域の未来につなげていきます。図書館は、みんなのための、みんなで共に作る「文化の広場」なのです。



第2章 江津市に求められる図書館・歴史民俗資料館

1 諸計画における構想

□ 「第4次江津市総合振興計画」(平成9年～平成18年)においては、「江津市総合市民センターに隣接して図書館、郷土資料館を含めた文化生涯学習センターや福祉施設などの整備とともに…シビックセンターゾーン(市民行政中枢機能)を形成していきます。」と記されています。

□ 「第5次江津市総合振興計画(江の川が育むイキイキ協働体)」(平成19年～平成28年)では、現状と課題として、「このうち図書館は、機能が十分とは言えません。また、郷土資料室も規模が小さく、必要な資料の展示や保管に十分とは言えない状況です。このため、江津市図書館・郷土資料館の建設が課題です。」と語っています。

さらに、第5次江津市総合振興計画の基本計画では、「本市の図書館は、公民館の一部を活用していることから、本来必要な機能を有する図書館と民俗資料館を整備するため、市図書館・歴史資料館建設基金を設置し基金を計画的に積み立てます。あわせて、建設資金の調達、施設の規模、建設場所、建設年次など基本構想の立案を行なうとともに、利便性、広域性等、多様な視点から総合的に検討しながら、また、市民全体の合意形成を図りながら、新しい図書館(歴史民俗資料館)の建設推進に取り組みます。」と記されています。

□ 「新市建設計画」(平成17年～平成26年)では、次のように構想されています。

「現図書館は、昭和49年に建設した郷田公民館に併設したもので、1階を図書館、2階を公民館として利用している。開館後30年以上が経過し、蔵書数も61,000冊を超え、書庫スペース等が手狭になり、図書館としての機能を十分に発揮できない状況である。また、郷土資料館は隣接している旧江津警察署の一部を利用しており、資料の展示ができず、一部は公民館に仮保管している。このため、新しく図書館ならびに郷土資料館を整備し、市民の教養を深めるとともに調査研究のために提供する。これらの施設を生涯学習の拠点として、江津市を担う子どもたちに夢と希望を与える施設として整備する。」

以上のように、本市においては、「図書館」と「歴史民俗資料館」(「郷土資料館」)の整備の必要性が認識され、両者を併設することが構想されてきました。この経過を踏まえ、上記計画書等における構想をもとにしながら、さらに、状況の変化に鑑み、これまでの計画にとらわれることなく、今、新たに、図書館と資料館をどのように建設していくのがよいか、について検討することが求められているのです。

2 江津市の図書館・歴史民俗資料館の現状と課題

江津市図書館は、昭和46年度から、市役所の一室で図書館設立業務を開始し、旧江津警察署跡地に昭和49年4月8日竣工しました。建物の1階が江津市図書館、2階が郷田公民館としての施設です。

図書館は、市民からの寄贈や計画的な図書整備のための蔵書をあわせて、7,847冊をもって昭和49年4月15日に開館、業務を開始しました。その後、移動図書館の実施、図書館だよりの発行、図書館婦人教室や読書会の開催など活動を継続してきました。

以来、38年が経過し、江津市図書館として市民に広く利用されていますが、施設のスペース等が限られ、資料・情報の充実が難しく、利用者の要求に応じきれていない状況があります。また、IT（情報技術）を活用したサービス機能も整っておらず、駐車場も整備されていません。

現図書館は、島根県内の図書館と比較すると、床面積や資料費などは最下位です（資料1参照）。また、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準について（報告）」（平成12年）によると、床面積や蔵書冊数などすべての項目が目標値に達していません（資料2参照）。

人々の暮らしや地域の行政における多様な情報要求に対応した新たな図書館機能が発揮できるように、そして図書館の利用に障がいのある人々を含んだあらゆる年代の人々の文化的営みを応援できるように、新たな図書館の施設が必要です。

「図書館の利用に障がいのある人々」とは、身体障がい者のほか
高齢者、在日外国人、施設入所者等を含んだ幅広い概念です。

歴史民俗資料館は、「郷土資料室」として図書館（郷田公民館）に隣接した場所に、旧江津警察署武道場（木造平屋建て79.50㎡）を改造し、昭和54年に開室され、文化財、古民具など約390点が展示されています。

管理人の未配置、また定期的の開館していないため、見学したいときには生涯学習課に連絡をとって、鍵を開けなければならない状況で、せっかくの資料が活かされていません。

江津市には、国・県・市指定の文化財などのほか、「石見根付」「石州瓦」「石見神楽」など古くから政治・経済・文化の中心地として栄えた郷土の歴史を知るための資料が多く存在しています。また、寄贈された根付のコレクションを、現在は保存に適した施設がないために島根県立石見美術館に寄託しています。江津の歴史を伝える貴重な古文書も、保存に苦慮している現状です。

こうした根付コレクションを観光のまちづくりにつなげたり、民俗資料の見学をふるさと学習に役立ててもらおうなど、歴史民俗資料を活かすためには、一日も早い保管、整備、展示、研究などの体制づくりが必要です。

第3章 江津市のめざす図書館



江津市図書館は

1 みんなの日々の暮らしや人生を応援します

江津市図書館は、地域で生活する人々が、安心とゆとりをもち、心豊かに日常生活をおくるために役立つ、育児・衣食住・趣味など、生活・文化・教育などの情報や資料を集め提供します。また、本との出会いだけでなく、本を介した人と人との出会いの場、交流の場として、心地よく過ごせる空間を提供します。

図書館は、みんなの生涯をとおして、「生きる」ことを応援します。

2 情報の拠点になります

地域や人々の課題解決のための資料や情報を収集し提供します。行政資料や地方自治・まちづくりを考える様々な情報を提供し、地域のコミュニティ情報が収集できる場とします。

ホームページを通じての積極的な情報の提供及び発信システムをつくり、地域の人々の情報を使う力（情報リテラシー）の育成にも関わり、情報格差をなくすように努めます。

3 みんなと共に進化することをめざします

図書館は、ますます多様化・高度化・専門化する利用者ニーズに对应していくことが大切な課題となります。江津市図書館は、学校図書館等と連携し、江津市にふさわしく、市民の暮らしになくってはならない存在をめざして、市民みんなに育てられながら共に進化し成長を続けていきます。

4 郷土の歴史や文化を今に伝え、未来につなげます

これまでの歴史や文化がもとにあって、現在の私たちの生活があります。郷土の歴史や文化に関する資料を活かすことによって、例えば、自然を大切にしたまちづくりに役立つ資料や情報、農産物・水産物等の地場産業の振興につながる資料や情報が見出せることでしょう。

図書館は、これらの資料を収集・保存し、未来を創造する文化へとつなげていきます。

第4章 江津市のめざす歴史民俗資料館

江津市歴史民俗資料館は

1 地域の交流活動を応援します

歴史民俗資料の見学や資料に関する講演会や講座、あるいは自主活動などとおして、参加者相互の交流や資料の所有者と地域住民との交流が積極的に推進されるよう応援します。また、江津市生涯学習推進本部主催の「出前講座」等とも連携して、多彩な交流活動を創り出すことに努めます。

2 歴史を活かしたまちづくりを応援します

地区行事（「ふらり」等）とのタイアップや、観光と結び付いた「新・ぐるっ」と人麻呂江津物語」事業との連携なども視野に入れて、歴史を活かしたまちづくり活動を応援します。それによって、来訪者へ江津の歴史・文化を紹介することに貢献します。

3 学習・教育活動を応援します

民具や古文書などの貴重な資料類を、時代やテーマごとのジャンルに分けて展示して、ふるさと江津の文化や暮らしぶり等、生きた歴史を子どもたちの目の前に再現します。次代を担う若者たちが誇りをもち、郷土愛を育むことができるように応援します。

4 郷土の歴史や文化を今に伝え、未来につなげます

この地方に古くから伝わり、伝えられてきた民具等は、貴重な歴史資料です。一度失ってしまうと二度と手に入らないものです。タイミングを逃さず、収集できる体制をつくります。

そして継続的に企画展を実施し、郷土の歴史や文化を眼に見える形にして、郷土の理解を深め、郷土の未来を考える機会を提供します。

第5章 江津市図書館・歴史民俗資料館の基本理念の実現に向けて

図書館と歴史民俗資料館を、各々理想的な施設として建設することが望ましいことは明らかですが、財政的な面、維持、管理などからみて難しいと言わざるを得ません。そこで、これらを当初の構想のように併設して整備することとし、以下のように最低限必要な条件を提言します。

また本市には、有形登録文化財として旧江津町役場があります。本施設は、国土交通省の街なみ環境整備事業の整備計画により改修しました。この施設は、歴史的資料を保存・活用する「歴史を生かしたまちづくりの拠点施設」としての整備方針が打ち出されており、これを新図書館・資料館の一部として歴史民俗資料館とすることも可能であると考えられます。

1 みんなの利用しやすい施設にするべきです

新図書館・歴史民俗資料館の場所は、生涯学習施設の中核施設として将来にわたって永く利用者に親しまれるために重要なことであり、あらゆる年代層の利用を考慮すると公共交通アクセスが良く、だれにでも分かる場所が望まれます。

子ども・高齢者・障がい者への安全を確保するために、ユニバーサルデザインに配慮した建物を、地面の高低差がなく、便利さと安全性が確保しやすく、緑が多く、騒音などが少なく、明るく開放的な雰囲気を感じられる環境条件の整ったところに設置するべきです。また、自動車による移動が定着している現在、広い駐車スペースも必要です。

「ユニバーサルデザイン」とは、年齢、性別、障がいの有無や国籍などの違いを超え、すべての人が利用しやすく、暮らしやすいように、ものづくりやまちづくり、環境づくりなどを行うという考え方です。

2 地域独自のテーマを大切にすべきです

すでに述べてきたように、本市には歴史的・文化的なさまざまな形の文字資料や博物資料がたくさんあります。本市は人麻呂ゆかりの地でもあります。未来へつなげていくためにも、こうした資料を積極的に収集し提供すべきです。

3 図書館施設と歴史民俗資料の展示室が必要です

図書館サービス機能を果たすための図書館施設と、歴史民俗資料館としての機能を果たすために、企画展のできる多目的展示室が必要です。



4 古文書や根付などの展示・保存には特別な設備が必要です

江津市は、たとえば産業的には、江戸時代の海、明治時代の川、大正時代以後の土を使った産業、などと独特の地場産業が栄えてきたことが知られています。これらを体系的にまとめて今日に伝えているのは、現時点では唯一古文書だけです。こうしたことから、古文書や石見根付などの保存には、温度や湿度などが調整され、セキュリティが完備された設備が必要です。

5 職員には専門家が必要です

現図書館は、江津市教育文化財団が管理運営しており、職員が5人配置されています。今後、新図書館を設置した際、「望ましい基準」では10人の職員を配置することが望ましいとあります。また、図書館は選書が重要です。限られた予算内で利用者の情報要求に対応できるように選書を行い、情報サービスを提供するためには、司書資格をもった職員が必要です。

一方、歴史民俗資料館の運営では、収集する物件については、出どころが判明しない、年代が特定しにくいもの、文化的な意味合いが定義されていないもの等や整理、保存方法について専門的な知識が必須なものとなることから、専属の学芸員が複数（少なくとも2名）は必要です。

また、館長は、ビジョンをもって図書館・資料館の管理・運営にあたらなければなりません。館長には、図書館と資料館に関する深い理解と高い識見を備えた人物が必要です。

6 管理運営は直営であるべきです

江津市の財政は厳しい状況であり、効率的・効果的な図書館の運営を図らなくてはいけません。図書館サービスは、「無料の原則」に基づいており、収益は生まれません。

「公立図書館の指定管理者制度について」（日本図書館協会 平成17年）では、営利を目的とする民間企業者を図書館の管理者とすることには自ずと無理があること、図書館サービスには図書館間の連携・協力やネットワークの整備が不可欠だが、競争関係に立つ民間企業者がこのことを効果的に達成するには難しいこと、などが指摘されています。

本市では、現図書館の開設時から江津市教育文化財団に管理運営を委託し、平成18年度から指定管理者制度に移行し、現在に至っています。現制度の中では、企画などの業務については指定管理契約では特定できないところもあり、今後、県立図書館や学校関係等とのネットワーク化が十分機能しないことも予想されることから、新図書館は、直営方式で管理されることが必要です。

第6章 資料

- 1 島根県内図書館の比較
- 2 「望ましい基準」に則した江津市図書館の数値
- 3 先進地視察後の意見交換
- 4 江津市所蔵の主な歴史民俗資料
- 5 建設推進スケジュール
- 6 検討経過の概要
- 7 江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会設置要綱
- 8 江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会委員名簿

1 島根県内図書館の比較

区 分	安来市立 図書館	松江市立 中央図書館	雲南市立 木次図書館	出雲市立 出雲中央図 書館	大田市立 大田市中央 図書館	浜田市立 浜田図書館	益田市立 図書館	斐川町立 図書館	出雲市立 海辺の多伎 図書館	江津市 図書館	江津市 図書館 桜江分
H21人口	42,321	194,003	42,547	144,663	38,753	60,207	50,151	27,634			26,200
職員数 (人)	正 規	1	3	0	8	1	3	3	6	0	0
	そ の 他	9	19	5	10	6	4	15	6	5	4
竣工年月	H16	S61	H5	S59	H10	S44	H5	H15	H16	S49	H20
床面積 (㎡)	1,494	1,760	954	2,629	2,581	686	2,674	2,958	1,180	376	204
蔵書冊 数	総 数	117,135	321,372	61,889	241,280	152,904	139,272	174,198	134,628	54,231	61,013
	児童書	37,798	69,881	22,831	58,079	36,959	39,749	50,409	37,639	16,702	16,448
個人貸 出	総 数	219,203	485,213	73,721	537,974	145,519	101,321	195,505	314,990	73,918	36,900
	児童書	99,735	166,382	40,155	201,148	62,573	43,939	77,935	104,837	27,075	18,281
1人当貸出冊数(冊)	5.9	2.6	2.4	7	5.4	2	4	11.4			1.5
H20予約件数	5,380	26,505	798	26,128	2,686	1,341	4,078	3,945	700	258	199
H20相互貸借数	358	778	198	942	709	829	449	249	127	284	227
H20レファレンス	3,022	2,132	1,994	3,129	2,857	779	4,324	9	613	586	120
休 館 日	水・月末	火・最終金	月・月末・祝日	木・月末	火・月末・祝日	月末・祝日	月末	月・最終木・祝日 の翌日	月・月末		火・月末
開 館 時 間	4～9月 10～20 10～3月 10～19 土日祝 10～18	09～18 6～9月 09～19	10～18	10～19	10～19 土日 10～18	09～19 土日 09～17	09～19 6～9月 09～20	10～19 土日祝 10～18	10～19		10～18
H21図書購入(千円)	11,500	18,038	2,000	11,875	4,700	5,000	7,350	4,000	2,597		1,000
駐 車 場 (台)	80	117	15	47	50	5	60	80	98		10
そ の 他	直 営	一部委託	一部委託	直 営	直 営	直 営	一部委託	直 営	直 営		指定管理

(平成21年度島根県公共図書館年報)

: 江津市

駐 車 場 安来 : 和鋼博物館と併用
 出雲 : 県庁・商工会議所駐車場利用可能
 木次 : 市役所・青少年ホーム駐車場利用可能

2 「望ましい基準」に則した江津市図書館の数値

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準について（報告）」（生涯学習審議会社会教育分科審議会計画部会図書館専門委員会 平成12年12月8日）の「参考資料：(2) 数値目標の例」を参考に各々の目標値を算出した結果、次の指標となった。

なお、算出の基礎となる人口は、24,000人とした。

項 目	目 標 値	現図書館数値 (本館H20末)
延 床 面 積	1,848 m ²	376.5 m ²
蔵 書 冊 数	116,437 冊	79,736 冊
開 架 冊 数	88,864 冊	(79,736 冊)
年間購入図書冊数	8,673 冊	704 冊
年間購入雑誌冊数	154 点	23 点
視聴覚資料点数	4,237 点	380 点
年 間 資 料 費	21,031,687 円	※1,385,000 円
職 員 数	10 人	4 人
貸 出 点 数	308,345 点	37,356 点

※ 平成21年度予算

3 先進地視察後の意見交換

視察先

滋賀県 東近江市能登川図書館 (博物館併設)	1 設立年 平成9年	8 特長
	2 人口 約24,000人	・博物館を併設
	3 図書館延床面積 約2,160㎡	・障がいを持つ方へのサービス
	4 博物館延床面積 985.9㎡	・移動図書館巡回
	5 開館時間 10時～18時	・市内7図書館とのネットワーク
	6 休館日 月・火曜日、国民の祝日	・地域歴史資料の充実
	整理日(期間)	・喫茶室
7 職員 館長、司書5人、庶務1人		
	学芸員2人、嘱託員1人	
滋賀県 愛荘町愛知川図書館	1 設立年 平成12年	7 特長
	2 人口 約21,000人	・博物館類似施設(びんてまりの館)
	3 図書館延床面積 約3,000㎡	・地域資料の活用
	4 開館時間 10時～18時	・町おこしカード
	5 休館日 月・火曜日、国民の祝日	・玄関のギャラリー
	整理日(期間)、最終水曜日	・野外ステージ
	6 職員	・ピオトープ空間
	館長1人、正職員5人(内学芸員3人)	
	嘱託員2人、臨時職員1人 全員司書	
滋賀県 栗東市栗東西図書館	1 設立年 平成18年	7 特長
	2 人口 約64,000人	・駅前複合施設 ウイングプラザ2階
	3 図書館延床面積 1,118㎡	・ボランティア活動
	4 開館時間 10時～18時	
	水金20時、日9時30分～17時	
	5 休館日 月曜日、国民の祝日	
	最終木曜日	
6 職員 正規職員4人、臨時職員4人		

基本コンセプト

<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄れること ・(施設設備)静かな環境の場所に建設するのが望ましい ・人が大事といえる原則 ・市民の生涯学習の拠点としての図書館 ・市民とともに歩む図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいぬくもりの有る町 ・(愛荘町のテーマ)地域と図書館の結びつき(自分と関係がある) ・子ども読書を大切にしたい運営を図る図書館 ・多様な資料要求に応えられる図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓が広く、明るい図書館を希望します ・人の集まる努力が素晴らしい ・努力の継続はすごい ・赤ちゃんからお年寄りまで楽しめる図書館 ・人を大切にするという原則にのっとりお年寄りをも大切に考えた取り組みだと思った
--	---	---

機能とサービス

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要求に応える様々な資料 ・ビデオ、CDコーナー ・インターネットの充実を ・インターネットを活用、収集、又情報 ・(能登川)書棚の配列にカーブがつけてある動線が良い!! ・公民館報の掲示 ・取り出しやすい資料の収集 ・図書貸出カウンターのシステムがコンピューター管理されて、スムーズに作業している ・旅行パンフレット雑誌の付録はお持ち帰り自由 ・予約申込カード→利用者の要望に答える ・本の並べ方 文学書は奥、生活に役立つ本は手前→生活の中に生きる図書館 ・障害者が働ける コーヒーショップが有る ・障害者の配慮としてバリアフリー ・郷土資料がきちんとまとめている ・館内各所に小振りのテーマ本コーナー ・館内を息苦しくない工夫のひとつ、素晴らしい ・平和(戦争)資料の扱い方(特別展示等) ・夜間開館 ・文学20%以下 文学主体でない構成→町民誰でも利用されたいと書館づくりのため ・図書館が街ビルを活性化し集客力を発揮しているのは事実のようだ(来館者多数の状況から) ・資料費が2館で3千万円(以前は2千万円) ・活動が評価されたとのこと ・「貸出しツアー募集」のチラシなどもあり、住民誰もが気軽に使える間口の広さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール⇔連携⇔図書館 ・WCは2階にもある ・ポスターを貼る場をたくさん→地域の情報提供 ・「博物館」という名前を使うほうが良い? ・タペストリー ・絵画の貸出 ・(びんてまりの館)製作工程の説明がわかりやすかった ・貸し借りの手続きが簡単 ・市民が望む図書を納めて欲しい ・本をいかに見せるか工夫(並べ方、表示) ・借りたい本が予約できる ・ラウンド型の入口で入りやすい ・展示特設コーナーが多く効果的 ・車椅子、ベビーカート、ブックカート ・喫煙コーナーのコーヒーの香り ・いいような談話の雰囲気があった ・財政悪化により貸出冊数の減(15冊→7冊) ・ベビーカー、お年寄りの手押し車 ・郷土資料コーナーを設置する(図書館) ・中庭があって空間づくりがうまくいっている ・地域資料が充実。庁内企業情報も豊富 ・地域資料が少ないように感じた ・フリースペース? 和室等は、高齢者にいい ・テーマに沿った本の配置、ディスプレイを各所に置く 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設で人が集まるのに都合がよい ・地域のコーナー(チラシ、飲食店メニュー、車のカタログ)ボックスに入れて ・ギャラリー ・今日帰ってきた本のコーナー→本を探すのに参考になる ・(びんてまりの館)展示に工夫されていた。中学生の作品を中心にしてあってよい。 ・月を決めた読み聞かせやお年寄りもまた大人 ・何冊でも借りられる→できるだけ利用者の要求に答える ・読みたい本の予約制 ・いつ来ても何かをしている状況→活気があり素晴らしい→図書費の維持に効果 ・情報掲示板、ちらし置き場、できるだけ多く貼付 ・壁面活用がみごと ・新聞雑誌の多さ 資料の多さ ・資料費の減 ・本を入れるカートが数台ある ・図書館の周囲に本を植え、ベンチを置いて楽しめるように ・落語のビデオ 目が悪くなった高齢者にはよい楽しみ ・豊富な地域の資源群(歴史、自然、文化→日常生活にかかわるチラシ、ハローワーク等)
--	--	---

管理運営

<ul style="list-style-type: none"> ・分類がわかりやすい(表示) 生活目録で(食べておす、安全な食べもの、家の中の害虫、医療の現場) ・職員は、多方面にわたる専門的知識の有る人 ・カウンター職員のおそいエプロン ・歴史資料館の充実を(常設展示) ・マナーと紛失図書破損 ・市民のニーズを掘り起こす図書館 ・開館時間、祝日の開館 ・人口が減少している江津が、今後もしっかりと管理できるよう、江津に見合った大きさを 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の本を多く読みたい ・学芸員がいる図書館 ・職員は、「子ども」についても理解ある人 ・蔵書整理にバーコード ・図書館長は、本当に図書館が好きの人に ・職員の数 ・夢や想いを語る館長の採用 ・読書に関する啓発行事を定期的に開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達によく選ばれた図書活動 ・親しみのある知識豊富な職員がいる図書館 ・職員は司書と学芸員の資格を有する人 ・光熱水費、管理費など ・開館時間の拡大を検討する ・祝日はぜひ開館を ・「愛想」のよい図書館にしたいとのこと(館長談)
--	--	---

設備

<ul style="list-style-type: none"> 壁面の書架 はめこみ式である。 円形書架よし 屋根の高さ 天井は高すぎるか？冷暖房との関係、証明との関係 自然採光を取り入れている(天窗、高い側壁) 子ども用の机や椅子を設置して欲しい 天井が高く開放的両面ガラス(庭が見られる) 事務室の広さの確保と動線 郷土史の関係書架あり(別室に) 書架の耐震構造についてあまり考えていない 書架が高くなって取り出しやすい。 町のこしカード(住民が作っていく情報)参加型 ペビールームの設置(授乳、おむつ交換台、ペビベッド等) 車椅子、乳母車の貸出をしている→誰もが利用しやすい 玄関までのアプローチに屋根がついている分りやすい(入口が雨の時、出入りやすい) 書架 下部の幅を大きくとり床にボルトで固定 VTRコーナー 数が少ない 4台 飲食ができる部屋 窓側の小部屋にビデオ設置 	<ul style="list-style-type: none"> 広々とした雰囲気落ち着きを与える 民俗資料館・博物館の名称は、少し大げさ 資料室ぐらいか？ 喫茶コーナーよし トイレ、手洗い場等 子ども用を設置して欲しい たたみ又ジュウタンの部屋 子ども本の部屋と離れている 入り口に館内案内板がない 書庫の十分な広さ 返却ポストの設置(時間外にも返すことができるように) 窓側の小部屋にビデオ設置 授乳室がある 赤ちゃんを連れてお母さんも安心して利用できる ゆっくり、新聞や雑誌が読めるスペース(外をながめながら) 天井のカーブがあるカーテン→むきだしの鉄骨かくし、やわらかい雰囲気づくり 本は斜めに入れる 窓側に書棚が置かれていない 直射日光避け お茶、持参弁当を食べることのできる部屋 	<ul style="list-style-type: none"> 便所の数 男子小4穴 大4穴 民俗資料展示 月別テーマ展示よし 窓際の読書コーナー、親子読書コーナーよし 特別収蔵庫よし 障がい者の方が気軽に出入りできること 畳のスペースを設けて欲しい 赤ちゃんを連れて行ける図書館 一階建て階段なし 本を入れるカート 職員休憩室 パソコン室の設置 図書館の床は木製で暖かい感じがする(寄木張り) 眺み聞かせ、紙芝居ができる階段状のスペース 前庭の小川よし メダカ、ホタルの飼育ができればさらによい 耐震への配慮 児童コーナーの書架 館内の照明は全体的にやや暗い(経費削減?) 書架 高さ低い、奥行き浅い、見出し易い 氷、湯等の供給
<ul style="list-style-type: none"> コンクリートの打ちばなしと白い壁と木材の調和 館内にBGM かすかな音で一日中 苦情無 フロア回りに子どもコーナー、雑誌新聞コーナー、その他が配置され、フロア全体がよく利用される施設作りがしてあり、効率的で死角がない 駐車場スペース、夜間用照明設備はよかった 広い駐車場 隣が気にならない読書コーナー 庭や屋外の施設等 建物全体の外観か？倉庫が工場風 もっと明るい感じがあればよい(能登川) 生活に身近な図書館であるためには、文学は少なめ(約2割) 通路が広い 外観はもっと芸術的に (体育館風) 駐車場の確保 屋外トイレ (閉鎖中だった) グレードの高さを意識した一室 駐車場は60台から100台 家具が小ぶり(家に居るような居心地良さ) 子どもが使えカー 書架の見出しがわかり易いふだんの言葉 真ん中が書架、周辺に各種コーナーをつくるやり方(小ぶりで天井も低い) コーヒーショップの人に「ここは楽しい空間ですね」と云と、「そうですよ」長いことここで過ごされますよ 	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者団体が喫茶室を運営 利用者も楽しそうでにぎやか 素晴らしい びんてまり館はビクチャーレール付き 会場貸出はしない→主催のみ→忙しいが図書館との相乗効果あり 風が通る図書館 ペビーカー、手押車、車椅子、カート 入口、建物内部、天井、本棚に曲線 心地よい びんてまりの多目的ホールは、範囲が狭い 貸出バッグ 明るい室内 書架構成を変えることで、利用者アップ 多目的展示コーナー(ミニギャラリー) 子ども読書コーナー 他コーナーから離れて 学習室(コーナー)の設置 木が暖かい 博物館の常設展示の充実 館内の床の誘導タイル 白熱灯がやわらかい 会議室スペース 喫茶コーナー 給水器の設置(水を飲みたと思ったが無い) 少し暗めに感じただけで、慣れてくると目に優しい、柔らかな明るさが心地よい お母さんが畳またはカーベットに座って絵本を子どもに読んであげられるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館、コミセン、児童館が入居良いことだ 問題は駐車場 子どもの眺み聞かせ ゆったりとした読書スペース 生涯学習の拠点 自然光でほんが読めるたっぷりのスペース 書架が低くて本が眺みやすい 天井が少し高すぎるように感じる カウンター側の死角があるのは良い 管理の面では難しいかも 周囲の環境とマッチしていること ななめの書架 図書館入口までがガラス張りのギャラリー 天井、書棚 曲線を沢山取り、居心地の良さ 平屋建てで、瓦葺であること 窓が多い (びんてまり)ショーウィンドウの発想一流のものを→写真、絵本原画展、アーティスト関連書籍展示 すぐ静かなわけでもなく、ロビーのBGMがよかった 根付を中心にした伝統工芸品の歴史や製作工程をパネルやビデオで紹介するコーナーの設置

その他

<ul style="list-style-type: none"> 公民館と図書館の関係を明確に 図書館と郷土資料を！！ 新聞の折込資料 (びんてまり)多目的ホール利用、部屋貸しをしない 梅資料コーナー 地元の産業と深い関係のあるものに集中している 休館日、時間外でも返本できるように外側から返却口がある 館内にBGMが流れている 絵本の種類は、0才(赤ちゃん)～年齢別に分け、それぞれに合った絵本をそろえてほしい 静かな環境の中にあること 高齢化率の高い江津市の高齢者(障害者)配慮 専門職からみた建物づくり(なるほど) 江津市ならどの辺り？ 知的な財産、知的な江津 催事、展示することで、本に結びつける 図書館の周辺に緑がいっぱい 公民館、図書館、博物館など施設間の連携は、あえて会合を持ったりせずに日常の仕事の中での 自分に関係のあるものがあると思わせると、人はやってくる 次は何があるか期待させるもの 	<ul style="list-style-type: none"> 町の情報がよく展示されている 医療情報コーナーがある！！ 行政関係の資料があり、地域資料が多数 地域資料の・史料の展示コーナー 江津市在住の画家「佐々木恵未さん」や「大場直子さん」などの絵を飾り、夢のある雰囲気 館長の言葉「本は生きもの」(新刊本を入れる) 地域の要望があれば出かける 見出しに工夫 集客力あり 遠隔地で交通手段のない親子のために移動図書で運んで欲しい 書架の見出しに工夫 職員の服装は自由であったが、返事がよかった 車の往き来する道から少し入ったところに設置 建物を先に開館して、外観は市民参加で少しづつ・・・なんて 館長は、大ベテランでヘッドハンティング 図書館に行くことが楽しみになるような！ こんな町に住みたいと思えるほどの、豊富なジャンルと内容密度の濃さ 	<ul style="list-style-type: none"> 町残こしカードはよいアイデアと思った 交通が便利(公共交通) 人口2万人の町に2ヶ所の図書館 江津は人麻呂コーナーを作るとよい 地域行政コーナー 資料が細分化されている 見出しはやや粗末 壁にポスターを貼る 情報の提供 子どもと高齢者社会に対処する図書館が多くある(介護に関する本) オルゴール曲等の静かでかわいい曲のバックミュージックをかけ、和やかな雰囲気を出すようする。 手づくりアクセサリ ピーズ小物 人を呼び寄せ飽きさせない企画展 使用されなくなった田んぼに建てられたとか 地方こそ立派な図書館を 宿泊しても図書館に来たと思わせる 畳コーナー 囲碁・将棋・オセロ等を準備 (栗)商店街も要望 駅前周辺の活性化 外は暗いのに主婦、子ども連れ、小学生等、多くの人が来ていると思った
---	--	--

4 江津市所蔵の主な歴史民俗資料

大分類	中分類	小分類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
衣・食・住	衣	服飾	3	わらじ	はばき	着物							
		裁縫・洗濯用具	3	ひのし	たらい1	たらい2							
		その他	3	おはちぶくろ	バスケット1	バスケット2							
	炊事用具	なべ	釜	平釜	大鍋	茶釜	鉄びん1	鉄びん2	むつめかご1	むつめかご2			
		はがま	蒸せいろ	もろふた	鍋	十輪1	十輪2						
		すりばち	ひきうす1	ひきうす2	ふるい1	ふるい2	ふるい3	ふるい4	うす	もみ板	もろみかしこぎ		
		調理・調製用具	せいろ1	せいろ2	じょうご	すし型	もろふた	やたくちごんぶり	物相	すり鉢	もろふた	ひきうす	
		26	すり石										
		貯蔵用具	はんど1	たらい	御櫃 小	御櫃 大	御櫃	はんど2	はんど3				
		醸造製造用具	1	醸造絞り用具									
		嗜好食用具	9	たばこぼん1	たばこぼん2	たばこぼん3	徳利1	銀杯	徳利2	瓶	徳利3	硫酸瓶	
		飲食器	椀	水びしやく	かさねばち1	かさねばち2	椀(漆)1	土瓶	ガラス瓶	肥前系皿	湯杯・白磁・くい暇み	蕎麦ちよこ1	
			椀(漆)2	蕎麦ちよこ2	蕎麦ちよこ3	蕎麦ちよこ4	茶碗籠	柄杓1	柄杓2	弁当箱	かさねばち	蕎麦ちよこ1	
	急須		陶磁器碗	高台付碗	高台付碗	杓					弁当の水筒		
	保存加工用具		1	ふたつきつば									
	飯食器		3	瓢箪	盆・皿・茶碗	杓							
	住	その他	4	飯そおけ	壺1	壺2	壺と蓋						
		住居	5	板戸	いろり	さんとく	湯たんぼ	襦					
		家具・調度	かんてら	ついたて	たんす	つづら	やなぎこり	ちようちん	こりり	こたつやぐら	小じゆうのう	小物入れたんす	
			柳こりり	書見台	火鉢1	飯台	カンテラ1	錠前	火消壺	コタツ	らんぶ	タンス	
			火鉢2	火鉢3	金庫	カンテラ2	金火箸	一輪挿し?	火鉢4	炭入れ	むしろ	手箒	
			壺1	火鉢5	壺2	折りたたみイス	イス	桶1	洗いイス	脚付桶	桶2	洗い桶	
			桶3	箱	桶2個	石見焼湯タンポ							
		建築習俗用具	5	地つき用具	のただる	むなれ	貨物便荷礼1	貨物便荷礼2					
		屋根構え	1	洋瓦									
その他		6	箱(焼き物入)	箱(圖書5冊)	大黒・唐比須の面	ナショナル電筒 空気電池	洗濯機	火起しセット(教材)					
生産・生業	自然物採取	採集用具	1	そおけ									
	農耕	耕作用具	5	すき	種苗運搬用具	田植網	鍬	畝掘り					
		管理用具	4	たぐるま	除草用具	土入れ1	土入れ2						
		収集・調整用具	とおし	麦打つち1	麦内づち2	きね	からうす	麦打ち棒1	麦打ち棒2	せんば1	せんば2	厚鎌	
			薄鎌	麦打ち台	とうみ(鉄)	とうみ(木)	鎌	鎌	鎌	鎌	鎌	脱穀機	
			籾篩										
	その他	3	肥桶1	肥桶2	肥桶3								
	山樵	搬出用具	1	せうま									
	漁撈	漁撈用具	8	網漁具	釣り漁具	うき	そおけ	滑車1	滑車2	がいし	夜釣用ランプ		
		船	4	いかり1	いかり2	ろ・權	ともつな						
		製作・修理用具	3	修理用具箱	釣り糸	網糸							
		漁撈用具	4	イカ釣りランプ	刺網	網	細ロープ3個						
	その他	3	筆入れ	網4個	大漁旗								
	染・織	機織り用具・施設	17	枠4	機織り台2	枠1	枠2	糸わく	糸つり鉢	枠3	箒	へつり	つむぎ車
		製糸用具・施設	7	ざぐり	つむぎくるま1	つむぎくるま2	つむぎくるま3	つむぎくるま4	糸枠	糸車			
繊維各種		5	くし	とんぼ1	とんぼ2	とんぼ台1	とんぼ台2						
その他		1	ミシン										
養蚕		収獲・処理用具	33	ちよつき	糸巻1	糸巻2	毛羽とり1	毛羽とり2	糸巻3	羽毛取り機	まぶしわく	糸巻き枠	蚕座台
手細工	飼育用具	11	ぼん	網	まぶし	まぶし(綿)	網	蚕座台	蚕座				
	細工用具	2	壺具製造用具	草鞋つくり道具									
	製品	2	棕櫚織	蓋・ゼーゲル管									
	その他	1	鎖鎌										
	採鉱・冶金	採鉱・冶金用具	5	輪1	鍛冶用具11個	輪2	製鉄用具	鍛冶用具					
交通・運輸・通信	諸職	諸職用具・施設	9	蹴鞠輪	鉦	瓦窯用具?	ハリ1	カナヅチ	ヌゲ1	ヌゲ2	ハリ2	ハリ3	
	—	旅行用具	2	みの	トランク								
		運搬用具	4	天秤棒1	鞍	天秤棒2	天秤棒3						
		通信施設・用具	3	電話1	電話2	郵便ポスト							
		車・船・そり類	6	かご1	かご2	だいはち車	だいはち車輪	かご3	かご4				
		交通運搬施設	1	溝蓋									
	その他	3	サカタ踏写版1	サカタ踏写版2	大地図								
信仰	信仰関係服装・用具	3	すげ笠	みますず	言笠								
	神事・仏事用具	2	お仏飯運び用具	花立									
	その他	1	半鐘										
社会生活	贈答・社交用具	2	贈(投事用)1	贈(投事用)2									
	共有用具	1	投票箱										
	その他	1	包み布										
交易	計算・計量具	4	とます	とかけ	さおばかり	分銅							
	商業用具	3	米袋中身を渡べる道具	買方覚帳(箱入り)	勘定台								
民族知識	規格の基準となるもの	1	ものさし										
	暦・時計用具	3	掛け時計	時計	柱時計	さおばかり(携帯用)							
	計算・計量具	3	計算機	分銅									
社会生活	薬品・医療・保健具	1	蘇生器										
	災・避難用具	2	消防ホース	消防ポンプ3個									
競技・娯楽・遊戯	競技用具	2	カ石1	カ石2									
	娯楽・遊戯類・玩具	7	16mm映写機	ニコレットスライド映写機	浅利公民館スライド	ビデオカメラのカバー	16mm映写機のカバー	ビデオカメラ	16mm映写機				
	衣裳・曲譜類	1	レコード										
	その他	2	ラジオ1	ラジオ2									
民俗芸能	人形	1	長浜人形										
	文書記録	4	長浜人形(長橋岡原菰講)六編										
軍事関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
その他	6	何かの蓋	板	一輪挿し?	はずみ車	熊手	張物板						
		382											

古文書			沢津家文書	森家文書	石堂嘉戸家文書	五島屋藤田家文書	黒松文書					
歴史資料			浅利村高札									
考古資料(遺跡名等)			波来浜遺跡	波子遺跡	半田浜西遺跡	半田浜遺跡	飯田地区	江津高校裏	後谷	亀山城跡	千田墓地	大堰遺跡
			長尾古墳前	八戸浄水場	波積本郷	渡津町	都治町	尾浜遺跡	高野山古墳群	シビックゾーン	横屋上遺跡	久本奥南
			高角小裏山	嘉久志遺跡	嘉久志羽代線	後地町	宮管根遺跡	本明城	井尻川	郷倉遺跡	都治園場	人麻呂渡し付近
			敬川	波積	上下河戸	金田	都治川	勝部建材	中山園園場	土坂	高野山古墳群	宮の谷
			枕滝	木村窯業粘土採掘場	前田遺跡	カミヤ遺跡	堂床遺跡	反坂遺跡	青山遺跡	青山古墳	矢源田窯跡	高津遺跡
工芸品			埋築遺跡	宮倉遺跡	古八幡付近遺跡							
			石見根付									

これ以外の歴史的なものとしては、柿本人麻呂関連資料等が重要です。美術工芸品や歴史的工業製品として、石州瓦関連資料等があげられます。伝統芸能的なものとして大元神楽伝承館等があげられます。また、松林宗恵映画記念館の資料も重要です。

5 建設推進スケジュール

平成 21 年度	・基本構想策定
平成 22 年度	・基本構想策定 ・基本計画策定
平成 23 年度	
平成 24 年度	
平成 25 年度	・用地取得、実施設計
平成 26 年度	・建築工事
平成 27 年度	・建築工事
平成 28 年度	・新図書館歴史民俗資料館オープン

6 検討経過の概要

区 分	開 催 日 時	検 討 内 容
第1回	平成 21 年 11 月 13 日 (金) 午後 1 時～3 時	1 委員の委嘱 2 委員長、副委員長の選出 3 議題 ・江津市図書館の現状と課題 ・学校での図書館活動 ・基本構想の検討事項 ・今後の予定 4 自由意見交換
先進地視察	平成 21 年 12 月 12 日 (土) 13 日 (日)	視察先: 滋賀県 図書館: 東近江市立能登川図書館 愛荘町立愛知川図書館 栗東市立栗東西図書館
第2回	平成 21 年 12 月 24 日 (木) 午後 1 時～4 時	1 グループ討議 「日本一の江津市図書館を目指して」
第3回	平成 22 年 1 月 22 日 (金) 午後 1 時～4 時	1 基本構想(案)の検討
第4回	平成 22 年 3 月 8 日 (月) 午前 10 時～午前 12 時	1 江津駅前再生整備計画の視聴 2 現地調査
第5回	平成 22 年 3 月 30 日 (火) 午後 1 時～午後 4 時	1 基本構想(案)の検討
第6回	平成 22 年 5 月 27 日 (木) 午後 1 時～午後 4 時	1 ビデオ視聴 「ディスカバー図書館」NHK2004 放送 2 基本構想(案)の検討 3 ダイジェスト版(案) 4 アンケート調査(案)

7 江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 本要綱は、江津市図書館・歴史民俗資料館の建設にあたり、図書館の電子化など社会の変化に対応し、豊かな図書館サービスの提供、および歴史民俗資料の保存展示ができるように、江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の事項について検討し、その結果を市長に報告する。

(1) 図書館・歴史民俗資料館の建設に向けて基本構想を取りまとめること。

(委員会の組織)

第3条 委員会は、別表第1に掲げるものをもって組織し、市長が委嘱する。

2 委員会は、第1項に定める委員のほか、必要に応じて臨時委員を置くことができる。

3 委員の任期は、基本構想の報告終了時までとする。

(委員長および副委員長)

第4条 委員会に委員長ならび副委員長2人を置き、委員の互選により決定する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指定する副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、必要があると認めるときは、関係者等の参加を求めることができる。

(報告)

第6条 委員長は、必要に応じ基本構想の取りまとめの進行状況を、市長に報告するものとする。

2 委員長は、委員会の成果を市長に報告するものとする。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、教育委員会事務局に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別途協議し定めるものとする。

附則

この要綱は、平成21年10月2日から施行する。

8 江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想策定委員会委員名簿

No.	区 分	氏 名	選考方法等〔委員会役職〕
1	教育委員	森 奈々子	〔副委員長〕
2	図書館協議会	山 本 和 子	
3	社会教育委員	田 中 郁 子	
4	図書館司書	三 原 久美子	図書館司書
5	保育所等関係	佐々木 幸 恵	
6	小学校図書館関係	山 縣 雄 二	図書館教育部推薦
7	中学校図書館関係	勝 部 由紀夫	図書館教育部推薦
8	婦人会関係	田 儀 セツ子	江津市連合婦人会推薦
9	老人クラブ連合会関係	花 田 章	江津市老人クラブ連合会推薦
10	学識経験者	堀 川 照 代	島根県立大学短期大学部教授 〔委員長〕
11	学識経験者	山野邊 強	前島根県立図書館調整監〔副委員長〕 現安来市立図書館長
12	一般公募	安 部 康 二	
13	一般公募	高 橋 美千子	
14	一般公募	井 上 尚 人	
15	文化財保護審議会委員	森 脇 傳	
計		15人	